

# NEWS RELEASE



【報道関係各位】

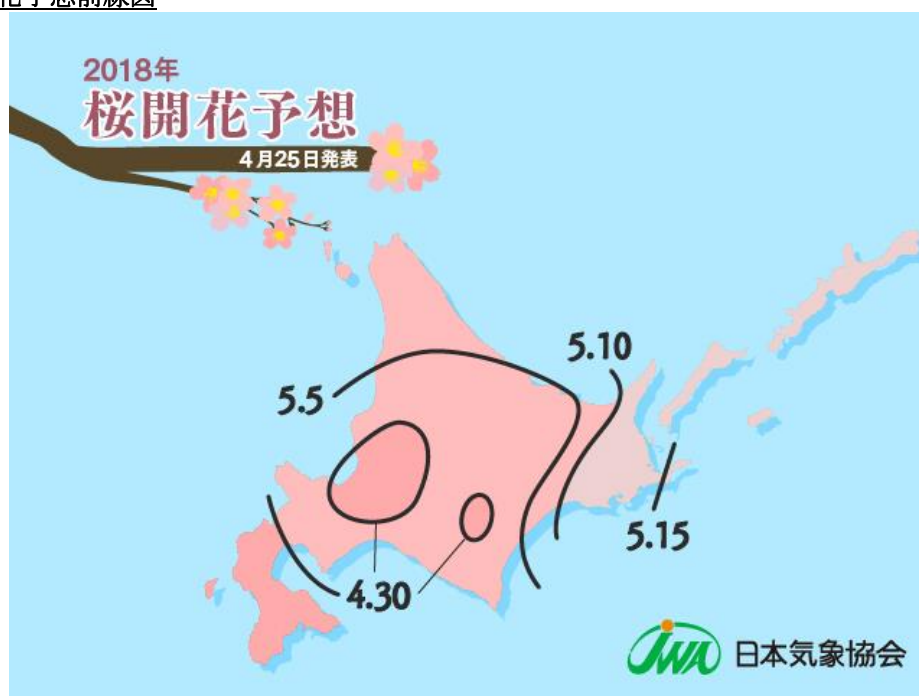
2018年4月25日  
一般財団法人 日本気象協会

## 2018年桜開花予想(第10回) ～桜前線はいよいよ北の大地に～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、および日本三大桜3地点）の開花予想日（第10回）を2018年4月25日（水）に発表します。

- ◆東北北部で見ごろ！
- ◆25日に松前公園で開花し、桜前線はいよいよ北海道に上陸！
- ◆北海道では大型連休中に見ごろを迎えそう

### ■2018年桜開花予想前線図



### ■開花と満開の傾向

北日本では、先週後半から気温が平年より高くなり、特に先週末は6月から7月並みの陽気となりました。このため、桜前線の北上スピードが早まり、平年より4日前後早く青森で19日、弘前では20日に開花しました。東北の山沿いの秋田県仙北市でも22日に開花し、日本気象協会が桜の観測を行っている東北の全地点で開花しました。また、北海道の松前町では、平年より3日早い25日に開花し、いよいよ桜前線が北海道に到達しました。

北海道では、来週にかけて気温が平年並みか高いと予想されるため、花芽の生長が促され、平年より3日から6日早く開花するところが多いでしょう。今週中に函館や札幌、内陸の帯広で開花し、大型連休後半には北海道の広い範囲で開花する見込みです。

桜前線は、3月15日に高知からスタートしましたが、およそ2カ月間かけて、5月中旬に道東の釧路、根室に到達するでしょう。

東北北部では先週後半から今週前半にかけて平年より2日から1週間早く満開となり、見ごろを迎えています。これから満開となる北海道でも平年より3日から6日早く、満開を迎える見込みです。函館では大型連休前半に満開となり、大型連休後半にかけて、室蘭や内陸の旭川など多くの地点で満開となるでしょう。北海道の広い範囲で大型連休中にお花見が楽しめそうです。最も遅い道北の稚内や道東の釧路、根室では5月中旬に満開を迎え、待望の春がやってくるでしょう。



## ■日本気象協会 長期予報（気温）

地域	大型連休後半まで	大型連休明け～5月中旬	～桜開花予想チームのコメント～
北海道	平年並みか高い	高い	北海道の気温は、大型連休後半まで平年並みか高く、その後も5月中旬にかけて平年より高い見込みです。初夏の陽気になる日もあるでしょう。



## ■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2017年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2017年)
福岡県	福岡市	(3月19日)	3月23日	3月25日	(3月27日)	4月1日	4月5日
香川県	高松市	(3月24日)	3月28日	4月2日	(3月29日)	4月5日	4月8日
広島県	広島市	(3月22日)	3月27日	3月27日	(3月28日)	4月4日	4月7日
大阪府	大阪市	(3月20日)	3月28日	3月30日	(3月26日)	4月5日	4月6日
愛知県	名古屋市	(3月19日)	3月26日	3月28日	(3月27日)	4月3日	4月6日
東京都	千代田区	(3月17日)	3月26日	3月21日	(3月24日)	4月3日	4月2日
長野県	長野市	(4月2日)	4月13日	4月14日	(4月6日)	4月17日	4月17日
富山県	富山市	(3月27日)	4月5日	4月5日	(3月30日)	4月10日	4月8日
新潟県	新潟市	(4月3日)	4月9日	4月8日	(4月5日)	4月14日	4月13日
宮城県	仙台市	(3月30日)	4月11日	4月7日	(4月4日)	4月16日	4月13日
北海道	札幌市	4月27日	5月3日	4月28日	5月1日	5月7日	5月3日

※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

**全92地点の桜**（標本木〔ソメイヨシノほか〕53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『[tenki.jp](https://tenki.jp)（てんきじえーびー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

## ■各地の気象予報士コメント

	<p>日本気象協会 東北支社（佐藤 理恵子）</p> <p>東北地方では、3月の初夏のような陽気の影響で南部の桜は平年よりかなり早く開花しました。また、先週開花した北部の桜は、週末の夏のような気温の影響で、一気に満開を迎えました。今週末は花びらの絨毯や桜吹雪、花筏を楽しめるところが多くなりそうです。</p>
	<p>日本気象協会 北海道支社（持田 浩）</p> <p>北海道にもいよいよ桜前線が上陸しました。週末にかけて、初夏の陽気に誘われて函館や札幌などではつばみから一気に開花へと向かうでしょう。その後も桜前線は平年より3日から6日早く北海道を北上する見込みです。大型連休中はピンク色に咲き誇る桜を楽しめる所が多いでしょう。</p>

日本気象協会では日本全国89地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんたいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」（ねおだにうすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想を「[tenki.jp](https://tenki.jp)」にて公開しています。

### 【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

開花日：標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

満開日：標本木で80%以上のつばみが開いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること  
以上